

令和2年度 住民懇談会の報告

10月26日から11月1日までの間、町内5会場で住民懇談会を開催し、多くの町民の皆さまにご参加いただきました。

今年度の懇談会では、名取町長より町の財政状況と来年度の方針について説明しました。また脇坂教育長よりICT教育の推進、植松副町長より新型コロナウイルス感染症対策について説明があり、参加された皆さまからご意見・ご質問等を伺いました。

各会場での意見・質疑の中から主なものを「報告」します。



●新型コロナウイルス感染症について

Q 新型コロナウイルス対策における検温について、体温が37.5℃以上の方の対応はどのように行うのか。今までそういった事例はあったのか。

A 今のところそのような事例はない。37.5℃以上あった場合は自宅にお帰りいただき、相談センターに相談していただく。また、災害発生時においては、37.5℃以上ある場合でも自宅に帰るようには絶対には言わず、避難所のエリアを分ける。

Q インフルエンザが流行する時期になるが、風邪の症状が出た場合の対応に困ると思う。有線放送で住民にわかりやすく対応方法等を知らせてほしい。

A 風邪の症状が出た際には、公共施設の利用は避けていただきたい。今後の受診相談については、県で近々方針が示される予定のため、有線放送、広報ホームページ等で周知していく。

Q 外部から小中学校へ入るときの検温をもっと簡素化してほしい。

A 新しい生活様式にならつて、生徒だけでなく、来校者にも検温は欠かさず行っていたらいい。本人だけでなく、ご家族の方が一のことでもあるので、自分の身を守るためとして協力していただきたい。

Q 新型コロナウイルスの影響における町の対応策が良かった。持続化給付金が町の上乗せがあったため、店を続けることができた。町民応援振興券は、他市町村でのプレミアム付商品券では、元資金の有無によって恩恵にあずかれなかった人もいる中、富士見町は全世帯に配るといふ対応が良かった。おかげで町内のいろいろなお店を知ることができた。

A ありがとうございます。本当に困っている人を支援することが大切であり、今後も町民の期待に応えるための施策を考えていきます。

●人口問題について

Q 移住するための空き家物件を見つけてるのは大変だと思うが、集落支援員を使う予定はあるか。

A 現時点では考えていないが、今後考えていきたいと思う。町の移住定住推進チームは、移住相談を受けたとき、単に物件を案内するだけでなく、生活全般や子育て支援などすべての相談に乗ることができるのが強みである。

Q 2045年に町人口1万人を維持するための施策について、特にUターンに向けての具体的な施策は進んでいるのか。

A また、町外に出ていく前の中学生に向けて町内企業を紹介する場を設けることはできないのか。

Q 東京で開催予定だった就職説明会を、今年は町内で実施する。ウェブ上でのオンライン展示会も開催し、町内企業をPRしていく。中学生に対しては、数年前から「なるには教育」として町内企業等の体験、紹介をしており、それを踏まえた意見交換も行っている。Uターン施策Ⅱ人口増と捉えて地域の皆様からも有効な意見をお伺いしたいと考えている。

●農業・観光について

Q ワインバレー構想は現状どうなっているのか。

A ワインバレーは「甲州」を落合地区で約2ha700本定植し、現在は一農家が管理している。一部は鹿の被害にあつたが、3〜4年後本格的に収穫が始まる予定である。

Q 大平区の基盤整備は完了したのか、それとも実行中なのか。

A 本体工事は完了している。手直し工事等については今後県と検討していく。

Q フジバカマの花を群生させれば、アサギマダラの蝶々が飛ぶようになる。

こうしたことも観光地のアイデアとして計画できないだろうか。

山野草や自然景観を愛する観光客が多いので、参考にさせていただく。

パノラマの施設更新はどのような計画になっているのか。

今年中に計画をつくる予定であったが、難しくなった。来年度以降、計画が出来上がった際には公開する。

目玉となるような特産品をつくり、アピールして集客を行ってほしい。

地域ならではの特産品は観光にとって重要であると認識している。今年から新たに夏秋イチゴの栽培をしており、特産品としていきたい。

医療福祉について

町内の医療福祉体制は恵まれているというが、どのような点でそれを感じるのか。

同規模市町村と比較すると、病院がない町村が多くある中で、総合病院があるというのは恵まれた体制が整っていると言える。また、いくつか個人病院があるが非常に連携が良い。社協に関しては評価が難しいかもしれないが、福祉サービスの体制が整っており、活発であるという声が各地で聞かれる。

敬老の日に高齢者は入浴券をもらえるが、ふれあいの湯以外の温泉でも利用できるようにしてほしい。

敬老の日にお配りする入浴券が利用できる施設は、ふれあいセンターと清泉荘の2ヶ所である。これは町有施設であるため無料で提供できるが、それ以外の民間入浴施設の利用料は負担しかねるのでご理解いただきたい。

社協の活動内容がわかるようなダイジェスト版を作してほしい。

社協だよりを通して発信していくなど、社協と協議する。



▲移動販売車による巡回



▲まるまる相談室

その他

学校のICT教育に関して、ICT機器の準備や先生方の知識向上などは十分に対応できるのか。

一部導入済みの機器もあり、先生方と子ども達が慣れ親しみながら使っていた。GIGAスクールサポーターを各学校へ派遣し、先生方への指導を継続的に行っていく。ただし、あくまで子ども達の学びを高めるためにこういった形でICTを活用できるか、といった視点が最も重要であると考えている。

行政書類の男女表記を廃止してほしい。

国の指導に伴い、性別表記を廃止した書類もある。ただ、健康診断等で性別の情報が必要な書類もあるのでご理解いただきたい。男女表記の必要性に関しては、今後も検討を進めていく。

回覧板は廃止していいのではないかと告知放送があれば良いと思う。

各区の意向によるが、最近はお年寄りの孤独死を防ぐため、定期的な安全確認も含めて実施されている。どうしても廃止したいなどの意向がある区は、総務課にご連絡いただきたい。

鳥獣害対策で、森林整備は進んでいると思う。今後は自然の中で人が住みたいと思うように、さらに整備に力を入れてほしい。

今後は集落内の森林整備を進め、人と鳥獣の住み分けができるようにしていく。それが鳥獣害防止と集落の住環境整備に繋がると考えている。また、国から森林環境譲与税が交付されるので、有効に使っていく。



▲ご意向があればご連絡ください



▲整備が進む都市計画道路

役場前の道路の拡幅は必要なのか。他に災害復旧等で直すべき場所があるのではないかと。

役場前道路の拡幅は、ひき逃げ事件が起きたこともあり、前町長が県に強く要望したものである。他にも4輪のシニアカーがうまく通れない、歩行者が車道にはみ出してしまう等の状況がある。災害復旧に関しては、随時現場を確認して計画的に進める。

分水の森について、せつかく綺麗に整備されたのに、伐採の残骸がそのままになっており、持ち込まれた竹が捨てられているのを見受けられる。また、森の公園として木を切るのではなく、植林をしてほしい。特にオオヤマレンゲを植栽してほしいかと。

不法投棄は注視していかなくてはいいけない。伐採の残骸については、課内で処理について検討している。その他の意見はすぐに回答できないので、意見として参考させていただく。

この他にもたくさんの貴重なご意見をいただきました。詳細については町ホームページをご覧ください。

皆様からお寄せいただいたご意見を参考に、これからもよりよい町づくりを進めてまいります。

ホームページ
<https://www.town.fujimi.lg.jp/>

総務課 企画統計係
☎62-9332